◆“ふるさとちば”のための政策推進を◆

山本よしかずアクティブリポート

誠　心　誠　意

やま　もと　よし　かず
山　本　義　一

〒289-1116 千葉県八街市中央20-11
TEL.０４３－４４０－７０７０
FAX.０４３－４４０－７０３０
HP:http://www.yoshikazu-52.jp/

9月補正予算の特徴

令和2年9月定例県議会に提案された案件は、補正予算案、各種条例案及びその他附帯議案のほか、報告4件及び「決算認定について」審議した結果、全て承認・可決されました。

なお、新型コロナウイルス感染症については、引き続き感染症対策に万全を期するとともに、深刻な影響を受けた地域経済の活性化も図っていく必要があります。

このため、9月補正予算では、感染症の長期化に備えた医療提供体制の整備に必要な経費を計上しました。また、健全な県民のみなさまとともに推進する「ちばと一緒に！」キャンペーンなど政運営に資するため、令和元年度の決算余剰の2分の1を財政調整基金への積み立てを含め、厳しい経営状況にある中小企業等へのさらなる支援など、厳しい経営状況にある中小企業等へのさらなる支援の取組を進めるほか、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、緊急的に取り組むべき事業を計上しました。

補正予算額は、５３３億８千３２１万余円、計予算と合わせた補正後の一般会計予算規模は、２兆１千９億７千１５１万余円となりました。

医療機関に向けた感染症対策拡充（ＰＣＲ検査数拡大）

１患者発生施設等への医療従事者の派遣、入院医療費の公費負担、ＰＣＲ検査１日の件数を２４００件から４０００件に拡大、軽症者等のための宿泊施設確保等については、これまでに発生した患者推移動向や患者推計を踏まえ、７月に病床確保計画を策定し、再積算した上で、年度末までの所要額を計上したものです。なお、空床・休床確保事業のうち、ＩＣＵ・ＨＣＵ以外の休床分は、基準補助単価が低く、医療機関の負担が大きいことから、県独自に補助単価を１日１床当たり１万円引き上げて支給することで、患者受入体制の強化を図ります。

また、体外式模型人工肺（ＥＣＭＯ）、人工呼吸器などの医療機関における設備整備については、最大入院患者数見込みに対応できる機器数を確保するための所要額を計上しました。

「ちばと一緒に！」キャンペーン

コロナ禍により低迷した県内経済の早期回復や新たな生活様式の実践を進める取組を、県民のみなさまとともに推進するため、「ちばと一緒に！」をキャッチコピーに、各分野が連携し統一キャンペーンを実施していきます。その主なものとして、

・観光については、県内宿泊施設に宿泊される方を対象に抽選により、１人当たり最大５千円分のキャッシュバックキャンペーンなど

・県産農林水産物については、旬や季節に合わせたプレゼントキャンペーン

・音楽でちばを元気にするため、千葉交響楽団と、県内各地域の高等学校吹奏楽部の生徒がするファミリーコンサートを実施します。

連携した演奏会や、地域の子どもたちと共演

「ちばと一緒に！」～まごころのチカラ～

中小企業再建支援金の対象拡大など

新型コロナウイルスの影響で、売上高が前年同月比50％以上減少している中小企業等に対して、最大40万円支給する中小企業再建支援金については、要件となる売上減少の比較期間を12月まで延長するとともに、７月及び８月の感染症再拡大を踏まえ、新たに、６月以降の連続する３か月の売上高が前年比30％以上減少する事業者も支援します。また、非対面型ビジネスへの転換など、新しい生活様式に対応するために中小企業等が行う設備投資を後押しするため、国のものづくり補助金に上乗せで補助するとともに、コロナ禍にあっても優良な中小企業等の事業承継を支援するため、専門家が直接訪問し相談等に応じます。

９月補正予算の主な事業

※金額は千円以下切り捨て

【新型コロナ感染症対策】

◉感染症患者受入れのための空床確保等事業　(186億3,000万円)
◉患者受入れ医療機関の設備整備補助事業　(35億円)
◉医療機関向け個人防護具・消毒液の確保・配布　(7億800万円)
◉クラスター発生施設等への医療従事者派遣　(1,179万円)
◉入院医療費等の公費負担　(6億3,000万円)
◉ＰＣＲ検査体制の強化　(9億6,800万円)
◉軽症者等のための宿泊施設確保事業　(36億5,100万円)
◉生活福祉資金貸付事業推進費補助金　(86億円)
◉地域公共交通臨時支援事業　(2億6,300万円)

【経済活性化との両立】

●「ちばと一緒に！」キャンペーン事業～まごころのチカラ～　(34億2,075万円)
【主なもの】
・観光キャンペーン事業
・千葉の農林水産物キャンペーン
・コンサート開催事業
●千葉県中小企業再建支援事業　(82億円)
●新しい生活様式に向けた設備投資補助事業　(10億3,000万円)
●事業承継支援緊急対策事業　(4,500万円)

【防災・暮らしの安全】

◆高齢者福祉施設整備事業補助　(2億9,632万円)
◆水防事業　(5,800万円)
◆土砂災害警戒対策事業　(1億1,000万円)
◆土砂災害対策支援事業補助金　(１,000万円)
◆県警Ｗｅｂ会議システムの整備　(6,000万円)

【その他】

✤袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業　(9,165万円)
✤重度の強度行動障害のある方への支援体制整備事業　(271万円)
✤千葉県就職氷河期世代支援加速化事業　(1,224万円)
✤浜の活力再生プラン推進支援事業　(2億5,381万円)
✤東京湾漁業総合対策事業　(534万円)
✤（仮称）千葉県総合救急災害医療センター施設整備事業 継続費　(214億3,300万円)

● 千葉県や八街市へのご意見、ご要望をお聞かせください
山本よしかず　県議事務所
〒289-1116 八街市中央２０－１１
TEL．０４３(４４０)７０７０
FAX．０４３(４４０)７０３０

HPもご覧ください。… 検索　ホームページ:http//WWW.yoshikazu-52.jp/

種子生産県条例制定

主要農作物種子法は、昭和27年に、戦後の食糧増産という国家的要請を背景に、国・都道府県が主導して、主要の作物（稲、麦類、大豆）の優良な種子の生産・普及を進める必要があるとの観点から制定されましたが、その後の社会情勢等を踏まえ、主要農作物種子法は、平成30年４月に廃止されましたが、県は、将来にわたり主要農作物等（稲、大麦、小麦、大豆及び落花生）の優良な種子を安定的に供給し、農業の振興及び農作物の安定供給に資するため、種子の生産・供給に関する基本的な取組を定める条例を制定することとした。主に主要農作物等の優良な種子の生産及び供給に関する施策を計画的に推進する責務を有することから、毎年度、主要農作物等の優良な種子の生産及び供給に係る事項を内容とする種子計画を策定し、種子計画に基づく主要農作物等の優良な種子の生産に必要な主要農作物等の原種及び原原種の生産を行う。主要農作物の種子を生産する者が経営するほ場を、指定種子生産ほ場として指定し、当該ほ場及びほ場で生産された種子の審査を行う。その他主要農作物等の優良な種子の生産及び供給のための措置を講じます。

先日、落花生研究室を訪ね、研究員と担当者から、改めて落花生における主な研究課題や細かい交配作業、種子生産の流れなどの説明を会議室にて受けてから、敷地内にある25アールの畑では、種が混ざらないよう品種ごとに間隔を空けることや、異品種の混合などの事態に備え、原種は専門の冷蔵庫でも保管するなどの対策をとり、品質が下がらないよう、細心の注意を払いながら研究・開発を続けていることを知ることができました。落花生は、ふるさと八街の特産品でありますので、さらに、美味しい落花生の普及を引き続き務めたいと考えています。

市内落花生研究室を視察

県農林総合研究センター落花生研究室は、国内唯一の落花生専門の研究室で、昭和33年（１９５８年）に八街市に移転されました。これまでに多くの品種の育成をしてまいりました。代表的な落花生といえば、千葉半立ち、ナカデユタカ、郷の香、粒が大きいおおまさり、千葉Ｐ１１４号はＱなつつの愛称で親しまれている落花生が主な品種になりますが、この他にもたくさんの品種があります。今も生産者の省力化や消費者の皆さんに親しまれ、定着されるよう落花生の研究・開発が行われています。

千葉県農林総合研究センター落花生研究室の施設を視察する山本義一県議

八街バイパス年度内全線開通へ

八街バイパスは、八街市街地に集中する交通を分散、誘導する延長３・２キロメートルのバイパスで、これまでに、県道千葉八街横芝線八街市先から大木地先までの区間、１・５キロメートルが平成23年５月に供用されました。

また、同道の五区地先から国道４０９号までの区間、１・２キロメートルが平成29年３月に供用されています。残る、５００メートルの区間の開通がまたれておりますが、令和２年度内に供用される予定となりました。これによって、八街バイパスの全線開通となりますので、八街市内の交通の緩和につながることを期待しております。

今後は、一部暫定２車線となっている区間の４車線化に向けて努力してまいります。

八街バイパス、残る区間内で工事の進捗状況を確認する山本義一県議
〈国道４０９号交差点から八街バイパス大木交差点までの間〉

コロナ禍の安全対策は

コロナ過の安全対策の状況を拝見するため、市内の保育園を訪問させていただきました。安全対策はしっかり行われていました。突然の訪問で先生方も、子ども達も驚いたようですが、帰る際には、子ども達が元気よく手を振って見送ってくれました。子ども達からパワーをいただきました。これからも感染症対策よろしくお願いします。

八街バイパス，残る区間の現場を視察する山本義一県議